



内部東小学校だより

自然を愛し、人間性豊かにたくましく生きる子どもの育成

四日市市立内部東小学校

2019年 9月3日

第5号



2学期は、「互いを思いやり、自らつながり学び合う子」をめざします

9月2日、子どもたちの元気な声が内部東小学校に戻ってきました。

始業式で、校長からは、1学期の終業式で話した内容を振り返ってみました。「2学期は、運動会、社会見学、修学旅行などの行事があります。これらの行事や普段の学校生活を通じて、他人を思いやり、他人が困っていたら自ら声をかけ、自らつながっていこうと行動してください。」「勉強ができることも重要ですが、それ以上に、『他人を思いやる』『あいさつができる』『そうじができる』『みんなと協力できる』ことが大切である。」と話をしました。

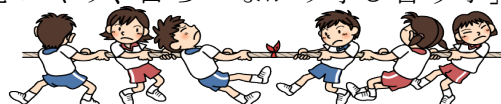
生徒指導担当の藤井先生からは、他人を思いやる気持ちを大切にし、自分の命や他人の命も含めて命の大切さについての話がありました。

教頭先生からは、空調設備の工事について教室内はほぼ完成しているが、電気系統の工事などは3月頃までかかることの話や、北勢バイパス道路を建設するため、波木南台周辺の工事が始まることで登下校において、気をつけることの話がありました。



2学期も、教職員一同、学校づくりビジョンの「互いを思いやり、自らつながり学び合う子」を育ててまいります。

どうぞ、地域の方やお家の方の見守りをお願いします。



空調設備・洋式トイレの設置等 学校の整備が進行中

夏休み中に、空調設備の設置や洋式トイレの増設、窓ガラスに飛散防止のフィルムを貼る工事などが行われました。さらに、掲示板の修理や一部廊下の壁のペンキの塗り替えを行いました。

屋外は、PTAの方に草刈りや溝そうじをしていただき、地域の方にはトンボ池を修復していただいています。整備され美しくなった学校には、美しい心が芽生えると考えます。このことについても、始業式で話をしました。あすなろうの「う」「美しい学校はそうじでつくります」を目標に学校の美化活動に取り組んでいきます。



学校・学年の様子や作業の様子はホームページでもご覧になれます。



令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果（6年生）

4月18日に行われた全国学力・学習状況調査の結果です。結果を分析し、今後の取り組みの参考とします。

【教科に関する調査】

- ・両教科とも全国平均を上回っていない。
- ・国語については、強みとして基本的な文章のきまりは理解している。その反面、弱みとして報告文を読んで書き方の工夫を捉える設問の正答率が低い。このことは、文章と合わせて図や資料が出てくると、内容を読み取ることが苦手であることがわかる。また、ことわざの設問や、報告文からわかったことを条件に合わせて書く設問の正答率が低かった。漢字を書く設問については、漢字の読み部分だけで判断して誤回答しており正答率が低かった。今後は、文脈から漢字を推測する力や意識して慣用句を使う習慣が必要だと思われる。
- ・算数については、強みとしてグラフの数値を読み取る力や面積を求める力など学習した基礎・基本的なことは理解できている。その反面、弱みとして長文から内容を読み取ったり、複数の数値が出てきたりした場合、何を聞かれているか、何を使って立式し、問題を解くかという応用的な問題や自分の考えは説明できるが、他者の考え方や方法を考えることが苦手である。その部分において今後授業の中で別の方法にはどのようなものがあるかなど、他者から学ぶこともしていく必要がある。



【生活習慣や学習環境に関する調査】

- 自尊心は高い方である。○先生に「もっと認めてほしい」と考えている。
- 思いやりのある子が多い。○朝食摂取率が高い。○地域に関心がある。
- 国際理解・多文化共生の意識が低い。○新聞を読まない子が多い。
- 家庭学習の習慣はある程度ついている。○算数に対する学習意欲が高い。
- 児童理解を大切にして、いじめのないなかまづくりに取り組む必要がある。

令和元年度 NRT（5年生）CRT（4年生）検査の結果

5月15日に行われた NRT（5年生）CRT（4年生）の検査結果です。CRT については、3年生も実施しているものの、分析は4年生のみです。

【NRT 検査】

- ・国語の観点別にみると書くことと読むことが低い。全体的に、文章の読み取りに時間がかかり、設問に答えるまでに時間がかかってしまう児童がいた。
- ・算数の「わり算」「少数のしくみ」「角」「二つの数量の関係」は、正答率が 70%を上回っている。数量関係は無回答率が多く時間が足りずに終わってしまったことが考えられる。

【CRT 検査】

- ・国語の基礎的な知識は身につけていると思われるが、「読むこと」「書くこと」の設問での間違いや未回答が多い。日常的に書く活動をたくさんさせるとともに、「構成を考えて書く」「条件に合わせて書く」など指導していきたい。
- ・算数については、四則計算の技能はおおむね身につけているが、なぜその式になるのかということの理解や道筋を立てて考える力が不十分である。